

臨床医学研究のお知らせ

聖路加国際病院では、将来の医療を向上させるため、臨床医学研究を行っています。つきましてはご理解の上、ご協力をお願い申し上げます。なお、個人情報 は 厳重に管理させていただきます。

研究計画や研究方法に関する資料をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体の目的や進行に支障となる事項以外はお知らせすることができます。ご質問がありましたら下記連絡先にお問い合わせください。

この調査では、ご協力を拒否することも自由です。もし、研究へのデータ・試料の利用を望まない場合は、下記の連絡先までご連絡いただくか、医療スタッフへ申し出てください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

【照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先】

住所：〒104-0044 東京都中央区明石町 9-1
電話：03-3541-5151
担当者の所属・氏名 アレルギー膠原病科 福井 翔

【研究責任者】

聖路加国際病院 アレルギー膠原病科 福井 翔

ニューモシスチス肺炎予防に ST 合剤を内服された方を対象 とした薬剤の耐性に関する研究

1.研究の対象

2004年1月～2019年8月までに、ニューモシスチス肺炎予防のために、ST合剤(商品名 ダイフェン、バクタ)の投与を行った患者さんのうち、予防投与終了後、培養検査が陽性となった18歳以上の方

2.研究の目的・方法

ST合剤はニューモシスチス肺炎の予防のために投与されます。ST合剤の長期投与により、細菌が耐性*を持つことが知られていますが、終了後どれくらいで耐性が無くなるかはわかっていないため、その研究を行います。

なお、この調査では通常の保険診療以外の医療行為はなく、診療録(カルテ)に記載される内容についての調査のみとなります。

調査期間は研究倫理審査委員会承認後～2021年3月31日までの予定です。

※耐性とは、薬剤を以前使用していた場合などに、細菌などの病原体がその薬剤に対して抵抗性となり、薬剤の効果がなくなることを指します。

3.研究に用いる試料・情報の種類

主なデータ項目は以下となります。

《情報》 年齢、性別、カルテ番号、身長、体重、既往歴、入院歴、血液検査結果、培養検査結果、治療歴等